

令和7年度第3回白井市立図書館協議会(概要)

- 1 開催日時 令和8年2月26日(木)15:00~17:00
- 2 開催場所 白井市文化センター2階 中ホール(かおりホール)
- 3 出席者  
 委員 吉弘会長、須田委員、森岡委員、山口委員、中島委員、村尾委員  
 事務局 高花文化センター長、藤田館長、高嶋主査(係長)、寺嶋司書、佐山主査
- 4 傍聴者 3名
- 5 報告事項  
 (1)令和7年度主要事業中間報告及び利用状況について  
 (2)令和7年度資料購入状況について  
 (3)図書館システムの更新状況について
- 6 協議事項  
 (1)令和8年度主要事業計画(案)について  
 (2)令和8年度資料購入計画(案)について  
 (3)文化センター大規模改修基本計画素案について
- 7 その他  
 次回開催予定について
- 8 配布資料  
 (1)会議次第  
 (2)会議資料
- 9 議事 以下のとおり

会長	本日はご参加いただきありがとうございます。 それでは図書館についての協議を進めていきたいと思えます。
事務局	報告事項 (1)令和7年度主要事業中間報告及び利用状況について (2)令和7年度資料購入状況について (3)図書館システムの更新状況について
委員	1 ページ目の青少年児童のおはなし会について、どなたでもどうぞというおはなし会は本当に人が聞きに来ない。準備しても、誰も来ないという状況がよくある。最近の傾向や、どうしたらたくさん聞きに来てくれるかという、そういう工夫の点では何か考えているのか
事務局	毎週水曜日におはなし会と、第4水曜日に親子おはなし会ということで開催しているが、全く来ない日もある。子どもはひとりで来ることができないので、お家の人に連れて来てもらう必要があるが、仕事をしている人も多いので、平日に図書館に来るのがむずかしい。今後、曜日の変更も含めて考えていく必要がある。

委員	<p>「はじめてであうえほん」だが、船橋市の広報(2月15日号)に、1歳半から4歳のお子さんに、1歳6カ月児健康検査の時に申し出てもらえれば、本を差し上げるという記事が載っていた。今は本を渡していないが、今度データセンターが出来て、白井市が潤うことになれば復活できたらいいと思っている。</p> <p>船橋では1歳半から4歳が対象だったが、白井もそのくらいの年齢のお子さんを対象にすれば、もう少しおはなし会にも聞きに来てくれる人も多くなるのではないかと感じている。</p>
事務局	<p>「はじめてであうえほん」での、絵本の配布の方は何年か前から行っていない。</p> <p>「おはなしかい」については、他の図書館では年齢別に分けて行っているところもある。やり方を含めては今後の課題である。</p>
委員	<p>子どもが絵本に触れず、絵本の大切さを知らず、読み聞かせを知らないで、いきなりスマホに触れるのは恐ろしいことだと思う。絵本を通して、親との触れ合い、親からの視線や声の抑揚も含めて愛情が伝わる。</p> <p>先日の朝日新聞(2月23日朝刊)に、東北大学で親からの読み聞かせや絵本の大切さについて書かれている記事が載っていた。記事には、読み聞かせを知らない子と、親からたっぷり読み聞かせをされた子の平均値を比較すると、発達の進み具合が6倍ぐらい違うというデータが出ている。そういうことも含めると、白井市のこの活動はとっても良いと思っている。人を増やすためには何が必要なのか、どのような取り組みをしているのか。</p>
事務局	<p>「はじめてであうえほん」では、スマホで子守りはさせないでと伝えている。また、読み聞かせの大切さや親御さんの声で語りかける大切さというのも説明した上で、親子おはなし会に来てくださいとか、一人でおはなしが聞けるようになったら、おはなし会に来てくださいねとご家族に伝えている。</p> <p>その他は、広報、ホームページ、ポスターなどで周知している。</p>
委員	<p>報告事項の購入資料で、CDとDVDはゼロだが、これは元から計画されなくて、これからも購入されないということで良かったのか。</p> <p>図書館システム更新で、インターネットコーナーの台数が減った理由というのは、ネットはいろいろな検索や学習することができるという目的で置かれていて、その利用が少なくなったので台数が減らされたということなのか。図書館から検索する制限があったりするのか。</p> <p>図書館のホームページ改訂ということだが、スマホも何か改訂されているのか。</p> <p>絵本だが、「本をあげるから図書館にいらっしやい」というのも難しいということなので、キーワードで絵本を展示すると興味を持つのではないかと。それでも来られな</p>

事務局	<p>いという方には、SNS、インスタグラムやYouTubeで、例えば、おはなし会を動画に撮って見ていただくということもできるのではないかと。</p> <p>CD・DVDの点数がゼロというところだが、協議事項の(2)令和8年度資料購入計画では、DVDは要望が多かったので5点ぐらい購入する予定である。CDについては、利用が少なくなってきたことと、配信を使う方が増え、利用は少なくなっており、現在は寄贈に頼っているという形になる。</p> <p>インターネットコーナーの3席から2席というのは、利用率を踏まえて検討した結果2席にしている。また、制限がかかっているかどうかというのは、有害な内容については制限をかけている。自宅のパソコンから自由に見るものとは違って、調べ物に使っていただくために置いてあるので制限はかけている。</p> <p>ホームページのスマホ版は、今システム更新の中で同時進行でやっている。ぜひご活用いただきたい。</p>
委員	<p>CDは配信利用が増えてきているので購入しない。ただし、DVDに関しては、リクエストがあれば購入するという理解でよいか。</p>
事務局	<p>CDについては、購入せずに寄贈されたものを受け入れる。DVDについては、要望があったため、来年度は予算をつけている。リクエストいただければ買えるものは買いたいと思っている。</p>
委員	<p>朗読CDに関しては、その限りではないということか。</p>
事務局	<p>朗読CDについては、発行点数が少なく、毎年数点の中から選ぶような形になっている。朗読CDについても、今配信が増えているので、そういうのを使っていただくとその何倍もの文学などが読める状況である。今後はオーディオブックに移行をするようにしたいとは考えている。</p>
事務局	<p>児童の展示については、「はじめてであうえほん」で紹介した、赤ちゃん向けの本を集めたコーナーを、おはなしのへやの前の棚で行っている。その他は季節に合わせた壁展示なども行っている。</p> <p>SNSで動画配信という話があったが、確かコロナのときに、そういった動画を上げて著作権の関係でダメだったという話があったと記憶している。他の手立てということで、今後も考えていければと思っている。</p>
委員	<p>著作権という話があったが、今、SNSの力はすごく大きいと思っている。</p> <p>SNSの力を使って広めていければ、もっと多くの方に知ってもらったり、繰り返し来ていただけるようになるのではないかと。</p>

	若い親御さんやお子さんが喜ぶようなちょっとした素品をあげるなど、そういうものもあっていいかなと思う。
事務局	おもちゃをあげるのはちょっと難しいが、クリスマスおはなし会でサンタさんからのプレゼントということで渡している。SNS についてはやっていないが、市の LINE があるので、そちらを活用することも考えていきたい。
委員	SNS という意味では、LINE は利用している人が多いので、LINE やしろいまっちで広報を流してみるというのはどうか。本を差し上げるというのはなかなか難しいかと思うが、リサイクルということで、読まなくなった絵本を図書館に持ってきてもらって、使えるものを持って帰ってもらうということもできるのではないかと思う。
委員	ボランティアサークルで活動しているが、活動報告ということで、広報やしろいまっちに、おはなし会の様子を載せている。読んでいるところの場面は撮ってもいいということでやっている。聞きに来ている子どもは、後ろから顔が写らないように撮っているが、横顔などが写ってしまった場合は、ぼかしを入れている。ボランティアなのでお金はかけられないが、紙飛行機やストローで動くおもちゃとか、ちょっと遊んで帰れるような簡単なものを渡しているが、それでも毎回来てくれる方がいない。小さい頃はよく来てくれたが、小学校になる時点でストップして、誰もいなかったということもある。
委員	プラネタリウムで、スタンプを押してもらうカードがあるが、読み聞かせを聞いたら一つスタンプを押してもらえとか、そういうのも客寄せなるかなと思う。また、母子手帳まで戻って読み聞かせは子育てに良い影響を与えますよ。というところで手帳の中に入れてもらうとかができないか。妊娠されたばかりの時は、自分の体調とか、これからうまく出産できるか不安になって、気持ちが精一杯だと思うが、いかに読み聞かせが大切なのかという広報活動もできるかなと思う。
事務局	母子手帳については、健康課と要相談になる。読み聞かせの写真だが、動画がダメだったと記憶している。図書館でも読み聞かせをしている写真などは、年報などに載せている。子ども達の顔は写らないよう配慮しながらやっている。
委員	プラネタリウムでコラボして実施した時は著作権はすごく厳しく、許可を取らないと使えない。その場限りで読んでいる分には別にいいと思うが、許可なく読み聞かせの動画を上げるのはいけないのではないかと思う。
事務局	著作権については難しい問題がある。今後の実施方法については検討していく。

会長	<p>主要事業中間報告の中で、障がい者の視覚障がい者用録音図書の製作と、対面朗読が、参加者ゼロとなっている。希望者なしということだが、去年もゼロとなっている。来年の事業計画にも同様に計画されているが、このままいくとまたゼロという恐れがある。読み聞かせの中でも出てきたが、広報活動、告知活動みたいなところをもう少し重点的にという話もあったが、例えば、市役所で障がい者の方本人に了解をもらって、ダイレクトメールみたいなのを送ってあげると申し込みが出てくる可能性もあるかと思う。</p>
事務局	<p>協議事項</p> <p>(1)令和8年度主要事業計画(案)について</p> <p>(2)令和8年度資料購入計画(案)について</p>
会長	<p>令和8年度資料購入計画(案)だが、6年度と7年度の実績では、ほぼ100%だったように記憶している。8年度の計画が前年比で90%ということで大幅に減るとい印象だが、各部分での圧縮の結果ということなのか。</p>
事務局	<p>予算策定の過程で、資料費の方も精査する必要が生じてこの予算額となった。</p>
委員	<p>8年度はDVDが5点予定ということだが、どういうカテゴリーなのか。</p>
事務局	<p>予定として選んだものが5点で9万5,150円だった。映画やドキュメンタリーなど、図書館に置いて相応しいものを選んでいますが、高額になってしまうので5点ということにしている。内容は今からでも変更することはできるので、リクエストしてもらえれば、購入できるものはしていきたいと思っている。</p>
委員	<p>資料購入計画(案)の1番、図書の青少年の400冊と児童書の830冊を比較した場合に、青少年の冊数が児童書の半分以下ということだが、その割合というのは、青少年というのは年齢が小学校から高校までで、各学校に図書室があるからという理解でよいのか。</p>
事務局	<p>青少年というのは中高生向け、乳幼児から小学生までが児童ということになっている。</p>
館長	<p>図書館には青少年向けコーナーがあり、その分の資料購入計画になっている。各センター図書室では、青少年向けの本としては購入せず、内容により一般書と児童書の両方で購入している。最近は青少年向けにティーンズ文庫など、いろいろ出てきているので、今回はそういったものも揃えることも考え、例年より多くしている。</p>

委員	各センター図書室とは配布の比率を決めているのか。
館長	リクエストやセンター図書室ごとの要望があるので、はじめに大まかに割り振りを考えてはいるが、実情に合わせて購入数を調整している。
委員	学校図書室の図書は、図書館の予算とは別に組まれているのか。
館長	そのとおりである。
センター長	図書費の精査だが、今回図書館のシステム更新をしているが、サーバーがオンプレミスからクラウドになった関係で少し費用が上がったこともあり、図書館費全体のバランスの中での調整ということで捉えていただけるとありがたい。
委員	オンプレミスからクラウドでは、クラウドの方が高かったということか。
館長	オンプレは初期費用が高く、クラウドは毎年かかるものを払っていくという形になる。それを変えるときの費用と、いろいろなものが高騰しているので、総合的にシステム更新にかかるお金が上がってしまったというところがある。
委員	費用は比較された上で、クラウドの方が利用価値、コスパが良かったということになるのか。
館長	クラウドにした理由として、数年後に文化センター大規模改修が決まっているので、サーバーを文化センター内に置かなくてよい手法とした。図書館が閉まっているときも、センター図書室を開室できるようサーバーを外にして、そのまま順調に運営できるという形を取りたかったので、それが大きな理由になっている。
事務局	協議事項 (3)文化センター大規模改修基本計画素案について
会長	17ページの改修方針の工期に1年6ヶ月工事期間中は休館予定とあるが、これは全館休館という意味合いか。 19ページの留意事項の一番下で、白井市文化センター大規模改修基本計画策定業務委託受注事業者というのは、サウンディング事業者とは別なのか。 この業務委託事業者というのはどういう業務分担で、この後決めていくサウンディング業者との住み分けみたいな。ここまでは前者で、ここからはこの後、打ち合わせをしながら決めていく業者ですよというのは決まっているのか。

事務局	<p>工期についてだが、17ページは全館休館する形で記載をしている。ほかに図書館・郷土資料館・プラネタリウム館、中ホールが入っている図書館棟と、大ホールがある会館棟を分けて順番にやるという方法がある。ただし、この工事方法は、工事をやっていない建物を使用できるメリットはあるが、それぞれの建物で1年6ヶ月程度の休館が必要になる見込みであることや、安全上のリスクがあるなどの意見を聞いている。</p> <p>次に19ページの留意事項の白井市文化センター大規模改修基本計画策定業務委託受注者は、既に業務委託をしており、契約相手は NTT ファシリティーズとなっている。このサウンディングに基本計画策定を受注している NTT ファシリティーズも参加する場合がありますよ。ということ、サウンディングに参加する事業者事前に留意事項として示したものである。</p>
会長	<p>計画策定時点までは NTT ファシリティーズで、その先はこの後やり取りをしながら決めていきますよ。ということになるわけか。</p>
事務局	<p>この基本計画策定までは NTT ファシリティーズにやってもらう。基本設計以降の業務については、改めて入札等の契約手続きを経て事業者を決定する。</p>
会長	<p>維持管理業務運営業務の考え方の中で、例えば図書館維持管理業務、レファレンス業務があるが、これは専門職か。図書館の司書が行っている仕事ではないのか。外注した時に、その司書の業務を受ける業務委託先があるのか。</p>
事務局	<p>実際に指定管理を受けていて、司書資格を持つ者を雇用して、その館に配置しているという事例もある。</p>
会長	<p>図書館の1年6ヶ月の休館は長過ぎるのではないかと、仮にそうだとすれば、現在、図書館の持っている蔵書の貸し出し等、各センター図書室にその機能を休館中、肩代わりさせることも考えてもよいのではないかと。</p>
センター長	<p>もう少し先の話になるのでまだ検討はしていないが、図書は毎年新刊が出るので、図書の購入は継続していく。センター図書室は通常どおり開館をしていくので、市民の方になるべくご不便をおかけしないようなスケジュール、工程などはもちろん考えていく。それは基本計画が終わってももう少し先の段階で、予算等も絡むものであり、例えば、どこで図書を保管するとか、そういったものも検討しなければならない。</p> <p>検討は少し先になるが、今のところ少しは考えているということと、一番大事なのは、なるべく市民の方にはご不便をかけないというところは肝に銘じている。ただ、30何年ぶりの大規模改修になるので、どうしても相当期間の休館が必要だと</p>

	<p>いうことはご理解いただきたい。</p>
委員	<p>1年半ということだが、この期間はどこかに蔵書を置いて、各センターから貸し出しをすとか、何らかの形での代替案というのをぜひ検討いただきたい。システム更新の契約は5年ということだが、この工事期間中もシステムは稼働しているのか。もしその費用を負担しているという前提であれば、そのシステムは利用できるのか。</p>
館長	<p>センター図書室は引き続きサービスは続けていく計画である。</p>
委員	<p>図書館に蔵書している本をどこかに移設して、その間その図書を貸し出す計画はあるのか。</p>
館長	<p>工事期間が決まってから、実際の移設計画を立てていくということになると思うが、どこか仮の場所を借りてやるのか、それともある程度センター図書室に置けるように計画を立てるのか、本を全部動かさなければいけないのか、というところもこれからの検討事項になる。他の図書館などで大規模改修をしているところは、本を動かさずに改修している事例もある。そういうところも参考にしながら、実際の工事に関しては、本の移動を考えながらのこれからの検討事項になる。</p>
委員	<p>当然費用とか、セキュリティの問題で安全上の問題があると、できることは限られるかもしれないが、例えば、駅前センターを児童書だけにすとか。そこにある程度集中させれば、あまり出し入れしなくてもできるような、いろいろなアイデアを募って、休館期間中やっぱり本を読みたいという人の希望を何とか叶えてあげれば良いと思う。もし民間委託した場合に、委託した方がこの事業計画を立てたものに沿って委託管理されるような形になるのか。その事業計画は誰が立てているのか。</p>
館長	<p>それは市役所の担当職員になると思うが、ここで今働いている図書館職員としては、このまま継続して直営で運営していきたいという思いはもちろんある。今後の動向を見て計画を立てていくことになる。</p>
委員	<p>ぜひ直営でやっていただき、司書がいる図書館というのが望ましいと思う。委託した場合の委託先に司書がいるということだが、万が一、この市役所の職員が計画を立てるといときは、絶対そこには司書が入らないとおかしいと思う。センター図書室だけではなく、小学校区で図書館のサービスが受けられるといいと思う。高齢者は車を運転できない、バスも来ない、本屋さんもない状況なので検討いただければと思う。</p>

館長	開館時から各公民館・センターに図書室を置いて、分館的役割で運営している。以前は移動図書館も運行していて、白井全域に本を届けるといふ思いでやっていた。1年6ヶ月間図書館が閉まってしまうのは、センター図書室が開いているとしても、利用者にはご不便をかけてしまうと思う。これを機に考えているのが、休館のタイミングで電子図書館の導入である。どこまで実現できるかわからないが、できるだけたくさんできることを検討していきたい。
委員	1年半は相当な期間だと思う。その1年6ヶ月をどう乗り切るかというか、どうやったら文化的なレベルを維持できるか。白井市には本屋もないので、市民にとって本が身近にある状態を維持するにはどうしたらよいか、方法論など、いろんな方の意見を聞くのもいいのではないかと思う。
会長	協議事項だが、読み込んでみてもなかなか難しい。 決定事項、協議事項、その後にこういう段取り、スケジュールになるというのがあるれば、非常に分かりやすいというか、話もしやすいし、準備もしやすいと思う。業務過多になるような気もするがお願いしたい。
委員	1年6ヶ月の間、今工事のやり方によってという話もあったが、実際図書館を閉める期間中の蔵書はどういう扱いで計画されているのか。
事務局	今のところ1年6ヶ月を見込んでいるが、工事中の騒音などもあるので、いながら施工は環境的にどうなのかというところがある。いながら施工や土日施工にすると、それだけ工期も伸びて、費用もかさんでくるので、これから工期や工事の方法については、継続して検討していきたいと考えている。 蔵書の取扱いについてだが、サウンディングの中で事業者からは、工事中に本が中にあると、どうしても破損とか汚損のリスクがあるので、できればどこかに移動してほしいということは聞いている。移動するにしても、そのための準備が必要になるので、そちらについても併せてこれから検討していきたいと考えている。
委員	工事期間中は、蔵書はそのままにする可能性があるということか。
事務局	移動するか残すか、両方とも継続で検討している。
委員	もし移動する場合には、倉庫などコストがかかってしまうと思うが、隣にデータセンターを建築しているが、一年間くらい、もしスペースがあるのであれば、そこに置かせてもらうのが可能であれば、頼んでみるのは価値があるのかなと思う。
事務局	そちらも含めて検討していきたいと思う。

事務局	<p>基本的には、この内容に沿って基本計画案の作成を進めていきたいと考えている。この後の流れだが、次回の会議は7月30日となっているが、この基本計画案については、4月頃を目途にパブリックコメントを実施する。</p> <p>パブリックコメントをやる際には、皆様にも基本計画をこのような形でまとめましたということで、郵送によりご報告させていただく。その時には協議会という形でまた意見をもらうということができないかもしれないが、パブリックコメントの方で意見がありましたら、ぜひお寄せいただければと考えているのでよろしくお願いたい。</p>
委員	<p>今のパブリックコメントの中には、休館するということは告知された上でのパブリックコメントなのか。もし告知されていないなら、1年半閉めます、その間どうしたいですか。という意見を聞いてみるのも一つかと思う。</p>
事務局	<p>基本計画案で改修スケジュールを載せて、休館期間についてもスケジュールのところで示すように調整していきたいと思う。</p>
事務局	<p>その他 次回開催予定について</p> <p>令和8年度の第1回の協議会は7月30日の木曜日、第2回は令和9年2月25日木曜日となっている。ご出席の方、よろしくお願います。</p>
会長	<p>それでは今回の会議は終了とさせていただきます。 ご協力、どうもありがとうございました。</p>